第1号議案　２０２４年度事業報告承認の件

２０２４年度　事業報告

1. 事業の成果

福井県、大野市の、エコBOOK等の啓発資料の製作に携わり、成果物は今後の広報資料としても役立てることができます。坂井市の小学生向け「ストップ地球温暖化対策授業」は3年目を終了し、中学生向けのプログラムにもかかわり、新たに啓発の機会が増えることになりました。勝山市・鯖江市とも連携して活動する機会が増えています。SDGsや、海洋ごみ・3Rに関する出前講座の依頼、県内企業・団体からの自然エネルギー体験教室の依頼も増えました。福井県地球温暖化防止活動推進センターの事業としては、福井ゼロカーボン・ウェルネス住宅（ふくいエコはぴねす住宅）基準策定委員会、大野市脱炭素ビジョン策定協議会、環境ふくい推進協議会企画委員会に委員として参画しました。

2. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業テーマ	事業実施計画	できたこと・成果
環境負荷低減事業	市民共同発電所（節電所）業務	・南川サイフォン式水力発電事業を安定的に展開できるように、運営体制を整えることをすすめます。 ・市民共同発電所4～7号機の市民ファンド運用、管理業務を行います。 ・上味見川や他地域の小水力発電事業が具体的計画段階になることを待って、会社設立等の準備をすすめます。	・南川サイフォン式水力発電事業は、中期的な経営計画を設定し事業剰余を出せる体制を作ることができました。 ・市民共同発電所4～7号機は、7号機が10年を経過し特産品の終了と第3サイクルの私募債募集を終えました。その他の市民ファンドの運用と管理業務を順調に進めることができました。 ・上味見川小水力発電は地元との合意ができずに中断することになりましたが、永平寺ダム利用の小水力発電を地元と準備することになりました。 ・病院と連携したPPA市民共同発電所を検討しましたが、陸屋根問題等で具体化させることができませんでした。
	太陽光発電普及事業	・FIT後問題や蓄電池、再エネ電力等の学習会を年一回開催します。 ・毎月の予想発電量報告はメルマガで配信します。メールアドレスを持たない会員には年3回郵送にてお知らせします。	・再エネ電力等の学習会の開催ができませんでした。市民共同発電所を作る会では、防災イベントでの再エネ機器の紹介や勉強会・工作教室を開催しました。 ・毎月の予想発電量報告はメルマガで配信します。メールアドレスを持たない会員には年4回郵送にてお知らせしました。
	太陽熱温水器普及事業	・HPやFBに太陽熱温水器の記事を紹介する予定	・口コミでの提案は行いましたが設置には至りませんでした。 ・記事の紹介は実施できていません。
環境教育事業	エネルギー体験教室	・例年通り5回の体験教室を開催予定(大野市一回含む) ・福井市全小学校と、大野市全小学校に案内チラシを配布。	・例年通り5回の体験教室を大野市で1回・福井市で4回開催しました。大野市と福井市の全小学校に案内チラシを配布しました。 ・7/21　太陽熱講座(大野市)　7/27　風水力発電講座(福井市)　7/28　ソーラーUFO講座　7/31　ペットボトルエコライト講座　8/4　MGミニカー講座の5回の開催で、153名(子供96人・大人57人)の参加がありました。
	海洋ごみ出前講座	・派遣講座を県内で10回実施。 ・海洋ごみ授業のためのパンフレット・記入式テキスト作成。	・海洋ごみ授業のためのパンフレットと記入式テキストを作りました。グループワーク用のテキスト作成しました。 ・小学校から要望のあった朝日小学校(越前町）森田小学校(福井市)大関小学校(坂井市)武生西小学校(越前市)の4校で講座を行いました。武生西小学校は2日続けて講座、敦賀市松原海岸にてビーチクリーン講座を実施しました。福井市内2校の小学校でも海ごみ講座を実施しました。
	キッズ会員向け例会事業	・川の観察会・ビーチコーミング2回開催予定。	・増水・雷注意報のため川の観察会は中止、残暑のためビーチコーミング講座の開催は中止しました。

環境教育事業	エコプラン講師派遣	・福井「体験の風を起こそう」実行委員会主催のふくい体験マルシェ(7/6)に参加。 ・坂井市アルマス・バイオコスモス研究所からの依頼で、坂井市ストップ温暖化対策授業に講師として参加。(坂井市春江町内小学校4校) ・SDGs・総合学習など県内小学校や団体からの講師派遣要請に対応します。	・福井「体験の風を起こそう」実行委員会主催のふくい体験マルシェ(7/6)に参加しました。 ・坂井市ストップ温暖化対策授業に講師として参加しました。(坂井市春江町内小学校4校223名) ・SDGs・総合学習講座を県内4校(越前町朝日小学校・武生西小学校・啓蒙小学校・旭小学校)にて開催しました。
情報提供事業	センター基盤(啓発・広報)	事業①・県内全域で啓発を行うため、市町と連携し、各地域のイベントに出展。 ・省エネ機器についてCO2削減量・節約できる金額など、その効果について分かりやすくイラスト等を用いてパネルで示し、それらを使用して啓発を行います。 ・アンケートを依頼し、啓発後1カ月以内に行動変容を確認します。	6/4～2/2までに県内15回のイベントに出展し、温暖化の現状と、脱炭素アクションを呼び掛ける啓発を行いました。 各イベントでは13のデコ活アクションについてピックアップし、アクションによってもたらされる効果をCO2削減量と節約額で表示した資料を提示。行動変容の有無についてイベント後1か月以内のアンケートを依頼しました。 アンケートは持参(主催者への手渡しも含む)・WEBフォームからの回答を集計し、行動変容実績数を確認しました。WEBフォームで回答していただく場合は、フォームに解説資料を付け、節約金額や削減量を明記するようにしました。 回答総数は293人、行動変容は13項目でのべ917人で、目標264人に対し回答数が293人、目標の110%を達成しました。
		事業②・各地域の小学校・公民館等で啓発を実施。講座は県内の小学校・団体の依頼に応じ、対応します。 ・大野市と協力して大野市のライトダウンキャンペーン時(7月)に実施。チラシ(1600枚)を大野市が学校通じ配布し、20組の参加を募ります。 ・県内全地域での啓発の機会を増やすため、本事業のチラシを(300枚)作成し、啓発資料とプログラム案を提示して県内の小学校に配布し広報を行います。 すべての講座で広報啓発行い、アンケートを依頼し、啓発後1カ月以内に行動変容を確認します。	6/6～2/7までに22回の出前講座に出向き、温暖化の現状を伝え、デコ活アクションを呼び掛ける啓発を行いました。親子講座では保護者向けに13のデコ活アクションについてピックアップし、講座終了後、1か月以内の事後アンケートを依頼しました。児童には●ごみの削減(分別収集・3R)、●食品ロス、●クールビズ/ウォームビズ(家庭)の3項目についてのアンケートを行いました。 講座ごとに都度、スライドやワークシートをブラッシュアップしたことにより、伝わりやすい資料ができています。 事後アンケートは、可能な限り、学校や公民館、施設などで取りまとめて送付していただいたこともあり、郵送代を節約することができました。 アンケート回答数は611人、行動変容は13項目でのべ1,586人で、目標177人に対し345%を達成しました。
		事業③各地域のイベントに出展し、推進員がエコドライブシミュレーターを使用し、エコドライブ体験を行います。 ・エコカー・コドライブについてパネルを使用して啓発を行います。 ・アンケートを依頼し、行動変容を確認します。	6/4～11/10までに県内7回のイベントに出展し、次世代自動車への転換、エコドライブを呼び掛ける啓発を行いました。 体験後、アンケートで行動変容の有無をイベント後に回答を依頼し、担当者への手渡し・郵送・WEBフォーム等で回収を行い集計を行いました。 エコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験による啓発を受け、アンケートに回答した数は124人、行動変容は2項目でのべ107人、目標35人に対して306%を達成しました。
		事業④ ①福井県循環社会推進課に依頼し「これからの消費行動について考えよう」と題して一般向け講座を行います。エシカル消費・手前どりも含め、脱炭素につながる取り組みについて学びます。	①12/15現場deトーク「これからの消費行動について考えよう」と題し、福井県循環社会課森氏に福井県のごみの排出量、処理についてを中心に、県の取り組みや県民への要望などを詳細なデータをもとに話していただきました。18人参加。

情報提供事業	センター基盤（啓発・広報）	②福井市新クリーンセンター建設事務所　加藤木氏に依頼し「ゴミのゆくえを考えよう」～福井市の事例をもとに～と題して一般向け講座を行います。 ③福井県循環社会推進課が行う、「フードロスマイスター中・上級講座」の参加者に分別・3R、食品ロスについてセンター職員・推進員が啓発を行います。 ①②については、チラシを作成し（A4　600枚）広報を行います。各回15～20名程度の参加者を想定。 ①②③の参加者にアンケートを依頼し、行動変容を確認します。	②9/23「ごみのゆくえを考えよう」＝福井市の事例をもとに＝と題し、福井市の新クリーンセンター建設事務所　加藤木氏に福井市のごみ処理について、令和8年に完成予定の新クリーンセンターについてなど、勉強会を実施した。チラシを作成し、県内の消費者団体・推進員・環境部会のある公民館等に配布しました。21人参加。 ③9/8、10/5に実施された、福井県資源循環課主催のフードロスマイスター講座で、センター職員がデコ活アクションを呼び掛けました。事前に福井県資源循環課担当者と相談し、参加者にアンケートを依頼しました。上記①②③の講座にてデコ活アクション3項目を呼び掛け、講座後アンケートの回答を依頼しました。3つの項目（食品ロス、ごみの削減、ウォームビズ・クールビズ）について主催者宛のメール、手渡し又はWEB回答で行動変容実績数を確認し回答数は75人、行動変容は3項目でのべ193人、目標40人に対し483％を達成しました。
		事業⑤ ① CO2排出量の削減効果の確認ための検討会 中部ブロック全体で「地産地消・食べきり（食品ロス対策）、ごみの削減・分別（資源循環）」を推進するために、愛知県センターの「フードロス＆生ごみダイエットによるCO2削減事業」への実践結果報告と県民性等を踏まえた生ごみダイエットの一般化のための議論を行います。	11/6・7に中部ブロック8センターで検討会の実施 新たに鯖江市のNPOエコネットさばえの事務局長である畑中氏とコンポストアドバイザーでエシカルコンシェルジュでもある水嶋氏が推進員となり、センター職員2名とともに検討会に参加しました。
		②福井県民による生ごみ減量によるCO2削減の実践 愛知県センターの「事業1：フードロス＆生ごみダイエットによるCO2削減事業」の知見も参照しながら、福井県民に生ごみ減量の実践を促します。 ・実践を広める機会として福井県内で「ごみダイエット」講座を開催します。（参加は15名を想定） ・チラシを作成し（A4　600枚）福井県エネルギー環境部　循環社会推進課と協働して広報を行います。 ・事業期間内に講座に参加した新リーダーがさらに地域で講座を行う場合にはセンターはそのサポートを行い、講座による行動変容数を確認します。 ・実践の報告により行動変容・CO2削減量を確認します。	12/15、NPO法人エコネットさばえにて一般市民向けの講座を実施し、18名が参加しました。当日は推進員（水嶋氏）が説明を行い、生ごみの量や処理に係る費用についての解説や、水分を減らす方法について説明しました。NPO法人エコネットさばえでは、コンポスト7種の使用感を推進員（畑中氏）が説明しました。参加者のうち3世帯が段ボールコンポスト、ミニキエーロ、LFCコンポストを導入しました。（コンポストを導入した参加者は他にもいましたが、アンケート解答で行動変容を確認できたのは4名。） 行動変容による波及数は少なかったのですが、削減できた水分量が多い計算となりCO2削減量は約19倍でした。

情報提供事業	センター基盤（啓発・広報）	事業⑥嶺南地域で行われる節電の取り組み時期をあわせ、節電の啓発を行います。 ・チャレンジの呼びかけ・具体的な節電内容の啓発・WEBサイトでの電気使用量確認・報告の呼びかけをYoutubeやSNS投稿で行います。 ・節電チャレンジリーフレット（A4　4P）を作成し、県内イベント・講座・施設で配布し、広報します。 ・チャレンジ報告と共にアンケートを依頼し、啓発後1カ月以内に行動変容を確認します。	県内小・中学校からの相談を受け、授業で省エネを学ぶためのカリキュラムを提案しました。 6/6越前市大虫小学校4年生54名に温暖化の現状・影響を伝える教材、手回し発電機、家族で取り組める具体的なデコ活チャレンジが記載された「地球温暖化防止のためにできること」、節電チャレンジについての資料を提供し、推進員が啓発を行いました。出前講座後に家庭での節電に取り組んでもらい、実施後家庭で検針結果を報告してもらいました。 11～1月にかけ、勝山市北部中学校2年、中部中学校1・2年に節電チャレンジを呼び掛ける授業のため、大虫小学校同様の資料を提供しました。中学校では、エコワットを使用し、家電の電気使用量を確認するワークの他、新たに節電チャレンジに向けた資料を個別に作成し、学校に呼びかけ授業で使用してもらうようにしました。結果、北部中学校2年生より節電チャレンジの報告がありました。 別途、全員に授業実施後1カ月以内にアンケートの回答を依頼し、脱炭素アクション3つの項目（食品ロス、ごみの削減、ウォームビズ・クールビズ）について行動変容実績数を確認し、 アンケート、検針票報告は57名。行動変容は3項目でのべ134人、節電チャレンジで削減できた世帯は20世帯で、削減できた電気使用料873kWhでした。 チャレンジ人数は目標の114％でしたが、削減量は目標よりかなり少ない結果でした。
	ストップ温暖化県民運動「LOVE・アース・ふくい」強化事業	(1)「デコ活ふくい」事業について、イベント出展時やSNSで広報協力をします。 (2)WEB版「うちエコ診断」をイベントで呼びかけます。（対面での診断は年間200件目標）	(1) 環境ふくい推進協議会（事務局：福井県環境政策課）が推進する「デコ活ふくい」に協力し事業を受託するする福井テレビを通じ、センター事業と連携して広く県民に呼び掛けました。 ・「デコ活ふくい」でイベント出展する場合は当日センター職員が出向き、地球温暖化防止に関する広報啓発のためのパネル展示や県事業の広報を行いました。 ・同事業に関して、受託する企業から取材先やテーマ、啓発の内容など相談を受け付けました。 ・ 県エネルギー課の、家電買い替え補助金、省エネ・脱炭素経営セミナー、省エネ現場見学会、次世代自動車購入補助、カーボンニュートラルをテーマにした講演会、シンポジウムなどの広報を行いました。 (2)県内イベントにのべ10日診断目標200件、実施数302件で目標の150％を達成できた。
	福井県エコな生活のヒントBook（仮称）作成支援業務	福井県環境政策課環境計画推進グループが作成する電子ブック「エコな生活のヒントBook（仮称）」の構成・内容を企画・検討し、レイアウト案作成までを担います。	県担当者・アルマス・バイオコスモス研究所水上氏構成についてと検討を重ね、内容の半分をエコプランふくいで提案を行いました。本文の内容・根拠・レイアウトについては前頁に携わり、発行に関わりました。 2025年3月26日、福井県より発行されています。
	メディア連携事業	・大野市内中学校で行われる環境落語の補助とEco解説を、推進員または事務局員が担当します。（市内中学2校対象）	・10～11月、市内2カ所の中学校で、推進員または事務局員が食品ロスについての解説を行いました。 ・中学生のアンケートデータを入力し、グラフ作成までを行いました。
	大野市委託事業	・大野市内のイベントに1回出展し、エコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験・啓発を実施します。 ・夏休み期間に親子エネルギー体験講座を1回実施します。	・10/27紅葉まつりに出展し、次世代自動車への転換、エコドライブを呼び掛ける啓発を行いました。 エコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験による啓発を受けた数は26人でした。 ・7/21学びの里「めいりん」にて親子エネルギー体験教室「ソーラーライトボトルを作ろう」を実施しました。18忍参加。 ・パンフレット内容等について、5/27大野市　環境・水循環課担当者2名との対面 打合せを実施しました。その後、各ページの詳細な内容については電子メールで都度確認を取り、協議を行いながら進めました。 パンフレットA4縦長　16頁　中針金とじ製本　両面オールカラー印刷　3,000部、電子データ　一式10月 付けで納品しました。 記事データの著作は大野市と共有して温暖化防止センターとしても利用できるようにしました。
	エコプラン例会	会員からの要望も含め、随時企画していきます。	・例会は開催できませんでした。

情報提供事業	情報提供	・SNSの団体アカウント、温防センターアカウントで、情報提供を行います。 ・NPO・アースサポーターの各MLでの情報提供を行います。 ・PVメンテナンス会員メルマガは賛助会員50名に毎月発行します。	・団体アカウントのSNS・温暖化防止センターアカウントで、随時情報提供を行いました。 ・NPO・アースサポーターのMLでの情報提供を行いました。 ・PVメンテナンス会員(賛助会員)メルマガで、毎月情報提供を行いました。